

# あからこぶ

福祉通信「あからこぶ」2013年2月号 関 廣久 書



カンジキ雪上ハイキングで、大自然を満喫!

温泉であったまり、貸切ペンションでゆったりお食事!



## 星降る町でハートをキャッチ in 北志賀高原



今回は山ノ内町の資源  
“春山”と“温泉”  
で町コン!



独身の方を対象としたイベントです。気軽にご参加ください。

日時 2013年3月23日(土)

長野電鉄湯田中駅前13時集合

(集合場所よりイベント会場まで主催者側で送迎します。会場への直接集合も可。)

会場 北志賀高原およびペンション『フォレストプラザ』

〒381-0405 下高井郡山ノ内町夜間瀬 7011 電話 0269-31-3888

内容 フォレストプラザ到着後ティータイム、カンジキを履いて雪上ハイキング。

コカリナ作り体験、よませ温泉入浴。夕食交流会(終了予定20時30分)

※イベント終了後、宿泊希望も可能です。(一泊一朝食付き6,000円)

参加資格 女性:未婚及び再婚希望の40歳位の方

男性:未婚及び再婚希望の二市二郡在住45歳位の方

(二市二郡:中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村)

参加費 女性:2,000円 男性:3,500円

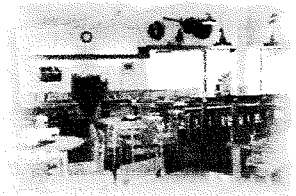
募集人員 男女各10名(定員になり次第締切)

申込締切 2013年3月11日(月)

申込方法 ハガキ、FAX又はメールで、住所・氏名・年齢・電話番号を

明記の上、山ノ内町社会福祉協議会までお申込み下さい。

申込受付後、詳細・日程等をご連絡いたします。



お問合せ先・お申込み先

山ノ内町社会福祉協議会 結婚相談所

〒381-0401 山ノ内町大字平穏3371-2

電話: 33-1105 FAX: 33-8413

E-mail: info@honobono-shakyo.or.jp

この人に注目

せき ひろひさ  
関 廣久さん



今月の表題を書いてくださったのは、関廣久さんです。

平成15年から、当会の結婚相談所相談員として携わっていただいております。主な業務は、依頼者と直接お会いし、時間をかけて話を聞いた上で、縁談へ結びつけていく役割と、独身者の出会いの場として「結婚イベント」を年2回(一泊二日、日帰り)企画から運営までを行っています。

関さんは「以前は、社内の宴席等が男女の出会いの場でもあり社内結婚も多かったようだが、今は社内の宴席も減ってきていると思う。そういった時代変化により、現在は民間、行政、団体でも結婚イベント企画に力を入れている所が多くなっている。様々な体系のイベントがある中で、社会福祉協議会としても年2回のイベントで独身者の応援をさせていただき、また、日々の相談では本人やご家族の力になりたいと思い、関わらせていただいております。」と話されていました。

来月3月中旬にイベントを企画していますので、参加者の「出会いへの一歩」をお待ちしています。

◆結婚相談所開設日 毎週火曜日(9:00~15:00)

◆相談を希望される方は、相談日時を決めさせていただき上で事前連絡が必要となる場合もありますので、社会福祉協議会へご連絡をいただくと相談員へお繋ぎいたします。

## News

## ◆平成24年度 介護者リフレッシュ教室事業◆

介護者リフレッシュ教室では月に一度、町内の方で介護をしているご家族の方を対象に、いろいろな体験やお出かけ、時には介護について学習、体を動かして日頃の介護疲れを癒していただく等をしております。また、介護者同士のつながりや情報交換を大切にして開催しています。

参加の方からのご意見



☆毎月が楽しみです。

☆近隣でも行ったことがない所へ連れて行ってもらえるので嬉しいです。

☆介護者同士なので悩み等が共感できて良い。

☆福祉施設の見学や、おむつの当て方の学習会などもあり介護していく上で参考になります。

〈実施内容〉	4月…絵手紙体験	10月…施設見学(フランセーズ悠なかの)
	5月…マレットゴルフ大会及び親睦会	11月…そば打ち体験
	6月…学習会「転倒予防について」	12月…フラワーアレンジメント
	7月…バスハイク	1月…学習会(排泄介助につ
	8月…リンパマッサージ	2月…おやつ作り(たこ焼き)

まだ、参加したことがない方も都合がございましたらご参加ください!!

## ◆つつみ住民活動センターにて『AED使い方講習会』報告◆

1月16日(水)山ノ内町住民活動センター運営委員会の方を対象にAED使い方講習会を実施しました。当日は17名の方が参加して、救命の必要性やAED使用方法等を日赤長野県支部指導員の方から教えていただきました。

「救急車が到着するまでに5分～7分程度かかる中で、私達が手当てとしてできる事が心肺蘇生やAED使用であり、躊躇している時間さえも惜しいので、積極的に関わって欲しい」と指導員から話がありました。説明を受けた後はグループごとに分かれ、心肺蘇生と訓練用AEDを使って練習をしました。胸椎圧迫や気道を確保し、人工呼吸の仕方が難しかったようです。AEDは音声メッセージが流れるため、指示に従って操作をするので心配はないが、一人ではなく協力者がいると安心するという声もありました。参加者は今後、助ける場面に出くわした時に活躍ができるよう一生懸命行いました。

※AEDは医療用具だが、一般でも使用が認められた唯一の用具

※救急車が到着するまでは、AEDと心肺蘇生を行うことが望ましい

〈心肺蘇生〉

- 1.倒れている人を発見したら、周囲の状況を確認(二次災害、事故)の危険性注意
- 2.意識の確認
- 3.協力者を求める(119番通報、AEDの手配)
- 4.呼吸確認(心停止の判断)
- 5.胸椎圧迫(30回)・人工呼吸(2回)のサイクルを繰り返す。



## ◆わくわく商店街 視察報告会◆



1月16日(水)埼玉県秩父市宮ノ川商店街への視察報告会をつつみ住民活動センターで行いました。視察は去る10月20日行いましたが宮ノ川商店街では、年間5回の商店街祭(ナイトバザール)を開催し、お客さんを商店街へ呼び込む取り組みを行っています。『お金を出さず代わりに、知恵を出す』をモットーに毎回の企画をお客さんは楽しみにしているようです。当日のお祭りでも大盛況でした。

視察に参加した方は「世代を超えて、みんなで商店街を良くしようという姿勢があり素晴らしいと思った。また、特定の人を楽しむばかりでなく皆が楽しめるような雰囲気づくりをしていた。わくわく商店街も、皆が楽しめる雰囲気づくりを心掛けていきたい。」と感想をいただきました。

わくわく商店街は、町内活性化と交流の場として現在開催中です。一人でも多くの方が、利用されることをお待ちしております。

## Infomation

### ◆ 平成25年度長野県シニア大学募集のお知らせ ◆

今まで培った経験や知識を生かし、シニアだからこそできる活動を長野県シニア大学で発見してみませんか？

【入学資格】おおむね60歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、積極的に地域活動を目指す方。

【学習時間】(1)受講年限は2年間です。

(2)年間の標準学習日数は15日で、各学部で定めた授業日に登校します。

おおむね午前10時から午後3時まで1日4時間学習します。

【出願手続き・入学者の決定】

入学希望者は願書に必要事項を記入し、平成25年2月1日(金)～2月28日(木)(当日消印有効)の期間内に各学部事務局または居住地の市役所・町村役場へ、持参または郵送してください。

→詳しくは下記へお問合せください。

【問合せ先】公益財団法人 長野県長寿社会開発センター(長野県シニア大学本部)

〒380-0928 長野市若里7-1-7 TEL:026-226-3741 FAX:026-226-8327

ホームページ <http://www.nicesenior.or.jp/> メール [info@nicesenior.or.jp](mailto:info@nicesenior.or.jp)

### ☆☆☆ 思い出が詰まったランドセルを収集します! ☆☆☆

小学校を卒業すると役目を終えてしまうランドセル…

海外の子どもたちにノートや鉛筆、クレヨンなどの学用品をつめてランドセルを寄贈します。皆様にご理解とご協力をいただき、有意義な活動となっております。今回もよろしくお願ひいたします。

○収集日 平成25年3月30日(土)10:00～11:30

○収集場所 つつみ住民活動センター

○協力金 1,000円(ランドセル1個につき)

○収集品 ランドセル(金具が壊れていなく、使用できる物)

未使用の学用品(ノート、鉛筆、クレヨンなど)

※少々使用した学用品も収集します。鉛筆削り(電動不可)

※ハサミ、カッター等の刃物類、楽器は受付しません。

○その他 ランドセル1個につき1,800円の海外輸送料が必要なため、差額分を未使用、書き損じはがき収集及び募金活動により補います。



アフガニスタンでは、家庭が貧困であることを理由に多くの子ども達が教育を受けられていません。特に女子は男子に比べ就学率が低く、家の手伝い、そして12～13歳で結婚し、出産を始めることが少なくありません。ランドセルを贈ることで子ども達が学校へ行くきっかけになり、読み書きができるようになると、赤ちゃんを安全に産み育て自分と家族の健康を守ることに繋がります。アフガニスタンのお母さんと赤ちゃんの命を救う第一歩は教育です。ランドセルはその一歩を踏み出すためのきっかけづくりに役立ちます。

集められたランドセルは、主にアフガニスタンに送られますが、宗教上の理由から豚皮を使用したランドセルはモンゴルの子供達に送られます。

○問合せ先○ 山ノ内町社会福祉協議会 電話:33-1105 有線:2038

つつみ住民活動センター 電話:33-2810 有線:4280

### ☆☆☆ 更生保護女性会 研修視察 ☆☆☆

会員の研修として、今回は視察見学を下記により計画します。

○日 時 平成25年2月26日(火)12:40 町地域福祉センター集合・出発(15:30 帰着予定)

○研修先 須坂市 長野刑務所

○その他 町バスを用意します。参加費無料

○問合せ先 町社会福祉協議会内事務局 電話:33-1105 有線:2038

# ～社協の予定～

2月

6	水	認知症サポーター養成講座② (つつみ住民活動センター)	
7	木	・ほのぼのランチ ・県議会管内視察(つつみ住民活動センター)	
8	金	・脳元気教室	
9	土	配食サービス事業意見交換会	
10	日		
11	月	【建国記念の日】デイサービス等営業	
12	火	・結婚相談所	
13	水	・わくわく商店街	
14	木	・ほのぼのランチ	
15	金	・脳元気教室	
16	土	一人親世帯支援 (東京ディズニーランド)	
17	日	日中友好交流事業 (水ギョーザ作り)	
18	月	・PM手芸教室	
19	火	認知症サポーター養成講座③ ・結婚相談所	
20	水	介護者リフレッシュ教室 (茶話会)	
21	木	・ほのぼのランチ	
22	金	・脳元気教室	
23	土	東北信手をつなぐ育成会研修会 (中野市)	
24	日		
25	月	更生保護女性会研修視察 (須坂市：長野刑務所)	
26	火	・結婚相談所	
27	水	・わくわく商店街	
28	木	・ほのぼのランチ ・PM理事会	
3月	1	金	・脳元気教室
2	土	信州発ボランティア地域活動フォーラム (木曾)	
3	日		
4	月	障がい者レクリエーション交流会 (サンアップル)	
5	火	・結婚相談所	

## くらしのたより



今年は長野オリンピック・パラリンピックから15年になります。また、当町にスキーが伝わってから100年が過ぎています。減少しているスキー人口がふたたび華やかな時代が来ることを願い、100年の歴史を振り返りたいと思います。

大正2年、ドイツ人によって当町にスキーが伝わり、昭和21年には丸池スキー場に日本初のスキーリフトが設置されました。昭和30年～40年代にかけて志賀・北志賀のたくさんのスキー場が開設され、この頃に国体や、全日本選手権などのスキー大会が開催されました。国体のアルペンは志賀高原で、ジャンプは上林で行われました。クロスカントリーは、沓野(現在東小学校のクロスカントリースキーコース)で行われたことは、ご存知の方は少ないと思います。

昭和50年代には、ゴンドラリフトが登場し、スキーリフトは高速化になりました。



平成元年、アルペンワールドカップが開催され、平成3年のIOC総会で長野オリンピックの開催が決定しました。丁度この頃が、スキー人口のピークの時代でした。

平成10年、長野オリンピック・パラリンピックが開催され、町民の皆さんもボランティア、競技役員、応援団、選手などとして関わり、大変盛り上がり、活気があったことを思い出します。

その後も、知的障がい者の世界アルペン大会や、今年の3月には全日本マスターズスキー大会が開催予定です。

志賀・北志賀高原はスキー場全体の規模の大きいことや雪質の良さは、スキーヤーにとっては最高の場所になっています。

外国人の方はスキーに加え、スノーモンキーを見に多くの方が来ています。湯田中駅構内では2年程前から通訳ボランティアが活動し、今冬から高校生・大学生の方も協力しています。このことを含め、町内に来ていただいた方を町民全体であたたかく迎え、対応していくことが復活への道ではないでしょうか？

## 雑感

あと1～2か月もすれば、春、そして桃の花が咲くのでしょうか？

今回は真面目に、史記から…『桃李不言 下自成蹊』  
「桃李(とうり)言わざれど 下(した)自(おの)ずから蹊(けい)を成す」桃や李(すもも)は何も言わないが、花の美しさに惹かれて多くの人が集まってくるから、木の下には自然と道ができる。徳望のある人のところには、自(みず)から求めなくても、その徳を慕って人が自然と集まって来る事の喩え。…を目指したいものです！ (ス)

社 是 安全・尊厳・満足 =地域住民のみなさまと共に歩む社協=

●福祉通信ちからこぶ 平成25年2月6日発行 ●発行者 社会福祉法人山ノ内町社会福祉協議会

●〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町大字平穩 3371-2(山ノ内町地域福祉センター内) TEL 0269-33-1105 FAX0269-33-8413

●URL <http://www.honobono-shakyo.or.jp> ●E-mail [info@honobono-shakyo.or.jp](mailto:info@honobono-shakyo.or.jp) ●印刷 山ノ内町社会福祉協議会